

# ビカルタミドを 服用される患者さんへ

監修

金沢社会保険病院 泌尿器科部長

折戸 松男 先生



東和薬品株式会社

# 男性ホルモンと 前立腺がんの関係



## はじめに

前立腺がんの治療では、患者さんがご自分の治療の目的や効果、これから使う薬について十分理解し、納得していただいた上で治療を進めることが大切です。

ビカルタミドは前立腺がんに対する男性ホルモンの作用を阻害(ブロック)することでがん細胞の増殖を抑制する前立腺がんの治療薬です。

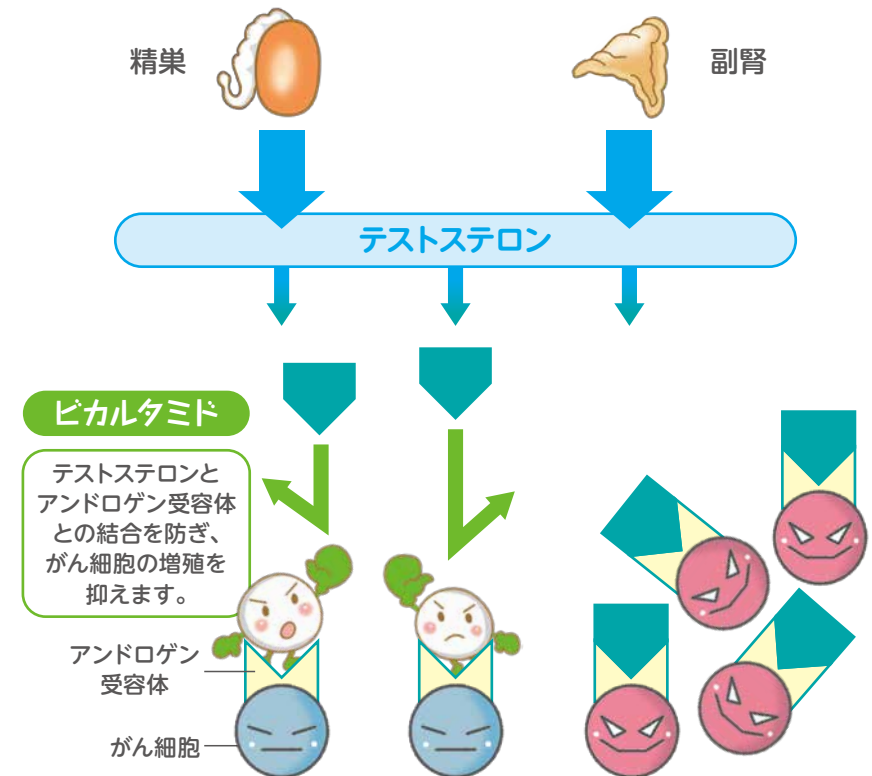
この小冊子では、ビカルタミドの作用や副作用などについて患者さんに是非知っていただきたい情報をまとめています。

薬と治療を正しく理解していただくため、そして主治医、看護師、薬剤師との話し合いを行う際の資料として、この服用ガイドをお役立てください。

前立腺がんの多くは、精巣や副腎で産生される男性ホルモン「テストステロン」が関係します。テストステロンがアンドロゲン受容体に結合するとがん細胞が増殖します。

ビカルタミドは、前立腺がんが進む原因である男性ホルモン「テストステロン」の作用を防ぐことによりがん細胞の増殖を抑えるお薬です。

<イメージ図>





## ビカルタミドの服用方法

### 服用方法

主治医の指示に従い、1日1錠を毎日おおよそ同じ時間に飲んでください。

### 飲み忘れた場合

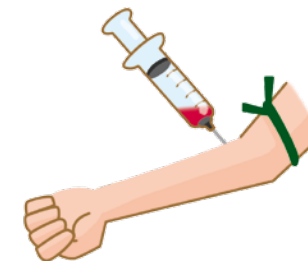
飲み忘れた場合は、気が付いたときにすぐに飲んでください。  
ただし、次に飲む時間が近い場合は、1回分をとばして次の通常の時間に1回分を飲むようにしてください。  
原則としては、1日1回(1錠)の服用として、絶対に2回分を一度に飲まないでください。



## 服用中の効果の確認

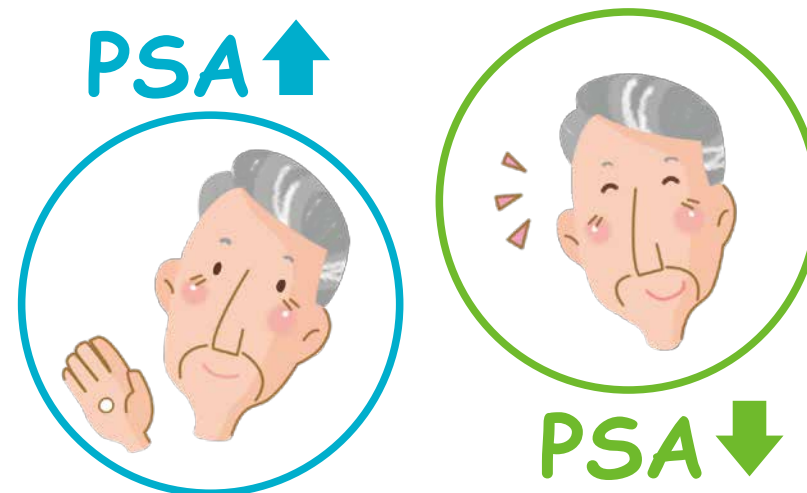


前立腺がんの増殖が抑えられているかを確認するために、定期的に血液中のPSA\*値を測定したり、必要に応じて、画像診断などを行い、患者さんの状態を観察します。



\* PSA (ピー・エス・エー) :

前立腺が作り出す特有のタンパク質です。  
前立腺がんになるとPSA値が高くなります。PSA値が低いほどがんの進行を抑制している目安となります。



服用を続けても効果が得られなくなってきた場合は、他の治療法に切り替えることがあります。  
詳しくは主治医にお尋ねください。



## ビカルタミドの副作用

ビカルタミドを服用すると、次のような副作用があらわれることがあります。

あらわれる副作用の種類や症状の程度には個人差がありますが、気になる症状、つらい・煩わしいと思う症状がありましたら、主治医または薬剤師にすぐにご相談ください。

### 特に注意してほしい副作用の症状

<すぐに主治医に連絡してください>

- 全身倦怠感、食欲不振、皮膚や白目などの黄染[劇症肝炎、肝機能障害、黄疸]
- のどの痛み、発熱、四肢などの皮下出血[白血球減少、血小板減少]
- 発熱、から咳、呼吸困難[間質性肺炎]
- 急激な胸の痛みや圧迫感を感じる、冷や汗が出る、息切れがする[心筋梗塞、心不全]

### 比較的頻度の高い副作用と症状

<気になる方は主治医にご相談ください>

- 乳房がふくらむ(乳房腫張)、乳房の痛み(乳房圧痛)
- 顔や体のほてり、急な発汗(ホットフラッシュ)
- 勃起障害、性欲の低下(性欲減退)

### 肝機能の低下

体がだるい、白目が黄色くなる(黄疸)などの症状がみられましたら、主治医に連絡してください。



### 乳房のふくらみ、痛み

乳房がふくらんだり、痛んだり、はるがあります。また乳首が痛くなったりすることがあります。



乳首に、絆創膏を貼って衣服との摩擦を避けると痛みを和らげることができます。

### 顔や体のほてり、急な発汗(ホットフラッシュ)

女性の更年期障害のように、急にたくさんの汗がでてきたり、顔がほてったりします。扇子を携帯したり、脱ぎ着できる服装をするとよいです。



### 勃起障害・性欲の低下

勃起障害(ED)や性欲の低下など、性機能に障害があらわれることがあります。通常、本剤の投与が終わると元に戻りますが、気になる方は主治医にご相談ください。

